

和気町 議会だより

Wake Gikai

特集：和気に移住した皆さんに聞きました

- 目次
- ② 和気町の魅力って、なに？
 - ④ 12月定例会より
 - ⑦ 質疑と答弁
 - ⑨ 委員長報告
 - ⑫ 視察報告
 - ⑮ 一般質問

和気町議会

第55号

令和元年12月定例会



和気神社和気清麻呂像前

和気町は平成28年から移住推進を強化してまいりました。その結果、3年間で300名を超える方が移住して来られ、人口減少に歯止めがかかっています。移住者の増加と定住が、和気町の将来の発展の鍵と考えられます。

移住した方々に和気町の魅力などについてお伺いし、これからの和気町政の一助になってくれたらと願います。

和気に移住した皆さんに聞きました 和気町の魅力って、なに？

● 和気町を何で知りましたか？ また、和気町を選んだ理由は？

三村さんご夫妻：私たちはニューヨークから移住して来ました。自然のあるところで子育てをしたいと思って、瀬戸内海沿いの広島、岡山、和歌山の中から選びました。

和気を選んだ理由は、景色の美しさ自然の雄大さに加えて、小さな町の割に移住者・外国人が多い点。何か面白いことが起こりそうだ！それが移住した決め手でした。東京・有楽町の移住サポートセンターの岡山県ブースで初めて知りました。

杉本さんご夫妻：私たちは神戸から移住しました。選んだ理由は3つ、移住相談員の存在の大きさ、人との触れ合いの中で感じた温かさ、子育て支援の充実、です。

和気町の情報は、ホームページ「WAKESUM」で入手しました。

石間戸さんご夫妻：東京の浅草から移住して来ました。私たちの選んだ理由は、岡山県が災害、特に地震が少ないことでした。総社と和気に絞り、最終的に決め手となったのは、移住相談員をはじめとする移住者同士のつながりです。そういった所に移住すれば、安心して仕事ができると感じました。

私たちも和気町のことは、有楽町の移住サポートセンターの岡山ブースで知りました。

岡崎さんご夫妻：私たちは横浜市から来ました。自然の中で子育てをしたいと考えていました。そんな中、有楽町の移住相談会のブースで、移住相談員と出会い、和気町の情報を聞き、移住相談員が親身になってくれたこと、和気町の教育環境と医療面が整っていることで、和気町を移住先に決めました。

和気町を 選んだ理由




三村さんご夫妻



石間戸さんご夫妻





和気に
住んでみた
感想

● 和気町に住んでみての感想や、以前住んでいたところと比較をしてみてくださいか？

三村さんご夫妻:期待以上でした！みなさんがとても親切です。来て1週間くらいで、お向かいに住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんに農場に連れて行ってもらえて、玉ねぎをいただいて、子供たちをかわいがってもらいました。横浜やニューヨークではありえないようなコミュニケーションのやりとりが新鮮でした。

杉本さんご夫妻:和気町の良いところは、移住に力を入れていて、移住者が多いところです。


不安なところは、子供たちが中学生・高校生になったときの通学と、商店や住宅などがもっと充実したら良いと感じました。

石間戸さんご夫妻:希望なんですけど、産婦人科が和気町にあってくれたら。分娩室はなくてもいいんですけど、健診だけでもやってくれる産科があれば子育てにも子どもが増える理由にもなると思います。


我が家でももう1人2人子供が欲しいと思っています。車がないと健診に行けないし、タクシーだと費用が高くなります。こんな時、近くに健診だけでもできる産科か内科でもあれば、良い町になると思っています。

岡崎さんご夫妻:最初は便利なところということで、本荘エリアの集合住宅に住みましたが、一戸建てが良いということで、今は佐伯エリアに住んでいます。

地域の方々に非常に温かく支えていただいています。そんな中で提言したいことがあります。それは、学童保育の運営です。働いているお母さんが役員をやっていて、大変な負担になっています。教育委員会などにご協力いただき、負担を減らしていただきたいと思っています。



杉本さんご夫妻



岡崎さんご夫妻



園整備事業

防災都市公園パース図



← 討論の動画はこちらから

反対

西中 純一 議員
山本 泰正 議員
万代 哲央 議員
居樹 豊 議員
従野 勝 議員
太田 啓補 議員

反対者の声

野球人口減少の昨今においてなお、一番人が来てくれる施設は野球場である。公園施設を考える際、野球場建設をほかに勝るものはないという考えで基本計画を作成したと考える。

● 万代 哲央 議員
町は創志学園に当時の総合グラウンドを貸与した際、和気町をにぎわいのある町にしよう、人口増加を生み出そうと、野球場建設を計画した。グラウンドの大きさはマスカット球場クラスである。

野球人口減少の昨今においてなお、一番人が来てくれる施設は野球場である。公園施設を考える際、野球場建設をほかに勝るものはないという考えで基本計画を作成したと考える。

● 居樹 豊 議員
防災都市公園整備事業については町民からは、日常生活を営む上でどうしても実施してほしいとの声はほとんど聞こえてこない。本町の財政事情は、将来課題を考えると決して良好とはいえない自治体であり、将来的に町民負担を強いるのは問題である。そして本年は、3月6月9月の定例会においても予算削減されており、民意は示されている。

● 太田 啓補 議員
防災都市公園整備事業については、既に議論が尽くされていると言ってよい。3月と9月の定例会で予算が削減され、6月の定例会でも検討委員会設置に関する条例が否決をされている。3度に及び防災都市公園整備事業関連の予算が否決をされているのが実態である。今定例会においても、防災都市公園整備事業の必要性に関する特段の事情もない。

● 西中 純一 議員
防災都市公園の1億5600万円余の予算は、補助金5200万円をもとにした予算だが、交付金という補助金を上積みして、最後は20億円弱の大規模な計画に拡張させようというものである。2回も修正削除されたものを実施しようという、議会制民主主義を無視するやり方であり許せない。議会初日に令和3年度国保の値上げを言われたが、町民は財政が悪い中で税金や国保の値上げを恐れているのである。

● 居樹 豊 議員
先般の特別委員会、町から野球場に関して集中して説明されたが、反対する議員の理解を得るまでには至らなかった。私はそう判断した。

和気町もこれからは、インフラの整備、経年劣化した施設の改修、土木や農業施設の改修や長寿命化に向けた取り組みなど、今やらなければならぬ課題がたくさんある。

「直近の義務を果たせ」という言葉がある。目の前に山積している課題を解決していくということである。住むに困らないまちづくり、住みよいまちづくりのために、今言ったことを、防災都市公園事業に優先してやることが肝心と考える。和気町の財政規模に見合った、身の丈にあった改革をやっていくことが大事だ。交流人口の増加によるにぎわいのまちづくり、これも大事だ。これについては地方総合戦略に沿って進めていくことが肝心だ。

防災都市公

賛成

当瀬 万享 議員

山本 稔 議員

神崎 良一 議員

若旅 啓太 議員

尾崎 智美 議員



賛成者の声

● 神崎 良一 議員

私は、次の点から本議案に強く賛成する。
①防災都市公園は、平時には総合運動公園として和気町民のふれあい・コミュニケーションが図られる場所となる。旧和気町と旧佐伯町の真の融合が可能となる場所になると考えられる。

②この総合運動公園が、歩く・走る・各所のスポーツをする場所を提供してくれる。そうすれば、町民の体力増強、健康増進、ひいては健康寿命の引き上げにも繋がる。人生100歳時代を健康に過ごせれば、町民の幸せが大いに期待できるだけでなく、町財政も豊かになる。

③この総合運動公園を和気閑谷高校のサブグラウンドとして活用できる。同校では、女子硬式野球部の創設を検討中と聞いている。また、県下初のコミュニティ・スクール制度導入校に決定した。地域住民が一体となって、同校の学習や活動に関わっていくというものである。総合運動公園の話題性が上がり、町外の方からの「使ってみよう」という希望に繋がっていくと考えられる。

● 山本 稔 議員

防災都市公園はいろいろ審議してきて、町長も何とか成立に向け計画の変更もして来た。和気町への移住者も災害当時は関心が深く、防災都市公園はメリットがあり、町の発展に必ず寄与するものと思っている。また、IPUの学生が100人住めば、国勢調査の結果により、国からの交付金が入り、グラウンドの維持費や借金に少しずつでも回せる。国との信頼関係も、一度損なうと数十年にわたって構築が難しいと思われる。信頼関係を損なわないようにしないといけない。

● 若旅 啓太 議員

防災都市公園は避難場所ではなく、災害復旧のための場所である。災害を完全に防ぐことは不可能だ。だからこそ被災後の復旧が、人々の命を救うために何より重要なことである。そして、平常時はみんなでスポーツできる公園にしましょうというだけの話。借金をすることをどのように受け取るかは個人の判断だが、私はそれを差し置いてもやるべき事業だと思つ。それは私が東日本大震災の被災者でもあるからだ。

比較優位の考え方で物事を判断するべきである。何をしても、メリットとデメリットがある。100%良い案も、100%悪い案もこの世には存在しない。だからこそ、この事業をやった時のメリットとデメリット、やらなかった時のメリットとデメリットをすべて天秤にかけて、トータルでどちらが良いかという視点で判断する議案であると考えられる。

農業用ドローン購入

賛成

当瀬 万享 議員
山本 稔 議員
神崎 良一 議員
若旅 啓太 議員
尾崎 智美 議員



反対

西中 純一 議員
山本 泰正 議員
万代 哲央 議員
居樹 豊 議員
従野 勝 議員
太田 啓補 議員

賛成者の声

● 神崎 良一 議員

ドローン事業に関しては、「ドローン事業」といえば、和気町、和気町といえど「ドローン事業」と言われるまでになつていく。ドローンの今後の活用の範囲は急拡大していくと考えられる。ドローン事業の可能性は和気町の将来を担う大きな要因になると考えられる。

● 山本 稔 議員

大型ドローン購入のためのJAの補助金制度を使用し、経費をおさえて今後のドローン活用に取り組むもので、先進的な事業である。

● 若旅 啓太 議員

ドローンを必要ないと感じている方は、そもそも困っていない人である。ドローンを使った農業散布も、農業をやらない方には関係のない話。買い物難民の方に対するドローンでの日用品配達も、車を自由に運転できる方には関係のない話である。しかし、助けを必要としている方々にとってはかけがえのない希望の光である。車を運転できないご年配の方、免許を返納された方々もいらっしゃる。そういった方々の生活を支えること、そして今後広がっていく耕作放棄地と減っていく農業従事者の問題を解決するのがテクノロジーの力だ。「ドローンはいらぬ」という声に埋もれて、ドローンを推し進めてほしいという声なき声がたくさんあるのも事実。その声なき声をすくい上げて、その方々を救っていく。それが政治に携わるものの矜持ではないだろうか。

反対者の声

● 西中 純一 議員

未完成な機械であるドローンの購入270万円は、農業散布が目的と言いつながら、鳥獣捕獲など用途が限りなく拡張し、後年度負担が大変不透明であるし、1000万円の実証実験も町民に役立っているのか理解できない。町をベンチャー企業の実験場にされてはたまらない。

● 太田 啓補 議員

農業用ドローン購入費について、和気町におけるドローン事業は、現在においても実証実験の段階にあり、先行きは不透明である。JA地域貢献活動支援助成金を活用してドローンを購入し、その後オプション部品を購入していくということ、何を目的として何をしようとしているのか理解できる説明がされていない。また、農業散布においては、既に民間業者が行っていることもあり、町内業者の市場圧迫にもなりかねない。農業被害などの検証もされていない状況の中で、自治体として取り組むべき事業ではない。

● 居樹 豊 議員

農業用ドローンの購入については、農業散布を主たる目的としているものであるが、町内においてはすでに民間事業者によって実施されており、民間でできることは任せて官は手を出すものではない。農業支援については、もっと広い視点で考えるべきである。

質疑と答弁

本会議において次のような質疑と答弁がありました。

12月5日
←定例会の動画はこちらから

令和元年度 一般会計 補正予算

答 今田産業建設部長
ドームとプールの屋根部分の改修は、それだけではダメで、あくまで防災機能を持たせれば可能と考え、今後内容を詰めていきたい。

2台のうち1台を更新し、安定した施設管理を行うものである。

農業用ドローンの農薬被害は
太田啓補議員
答 ドローンでの農薬散布による被害の心配はないか。

令和元年度 特別会計 補正予算

町道認定

ドローンの要望ない

西中純一議員

問 ドローンの購入は要望もないし、民業圧迫ではないか。

答 今田産業建設部長
高齢化の中で実費で農薬散布できれば、行政サービスとして妥当である。

和気ドーム・温泉プールの屋根の改修は可能か

山本泰正議員

問 防災都市公園の基
本計画は、軽微の変更のみと聞いているが和気ドームの屋根・温泉プールの屋根も改修可能とのことだが、

温水プールの修繕の内容は何か

居樹 豊議員

問 和気鵜飼谷体育施設温水プールのボイラーの故障はどうなっているのか。

答 則枝社会教育課長
温水プールができて約24年が経過してボイラーが経年劣化し、熱効率も低下しているので、

条例違反の報酬の支払いは適正に

山本泰正議員

問 国保運営協議会委員の報酬については、5年間の遡及適用とのことだが、自治法の適用に問題は
ないか。合併前都市計画税の誤徴収の経緯もあり、対象者に経緯など十分説明し、理解を求めていただきたい。

答 稲山副町長
ご理解いただけるよう十分配慮したい。

農業用ドローンの農薬被害は

太田啓補議員

問 ドローンでの農薬散布による被害の心配はないか。

答 今田産業建設部長
農薬被害については再度調査させていただきます。確認を十分した上で、ドローンの農薬散布について、研究したい。

令和元年度 特別会計 補正予算

和気町道路線の認定について
田を町道認定か

和気鵜飼谷温泉事業特別会計補正予算
省エネ化事業とは

西中純一議員

問 省エネ化事業委託料110万円は二酸化炭素を削減するためか。

答 今田産業建設部長
二酸化炭素の排出量、エネルギー消費量削減の運用改善の提案を求める。

西中純一議員

問 水田を売却したときに譲渡所得税が課税されないよう町道認定か。

答 久永都市建設課長
税控除の対象になるよう町道認定する。特にJRの土地もあり、絶対条件だ。





条例

和気町会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

職の廃止はなぜか

問 山本 稔 議員

職の廃止が7件あるが、その内容と経緯は。

答 立石 総務部長

制度の変更等により、実用の運用がなくなった。

有償ボランティアの概念と報酬は

問 太田 啓補 議員

非常勤職員から除外される有償ボランティアの概念と報酬は。

答 立石 総務部長

業務委託有償ボランティアへ移行し、

報償費として現状の金額で考えている。

和気町非常勤職員の報酬及び費用弁償の報酬額は適正か

問 山本 泰正 議員

国保運営協議会委員の報酬年額20,000円とあるが実際は、日額支給と思うが条例違反ではないか。

答 岡本 民生福祉部長

今まで日額報酬で支払いしている。今後、条例どおり支払いたい。

和気町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

問 西中 純一 議員

36歳まで上がって全体のベースアップになってないのか。

答 立石 総務部長

36歳までは、ベースアップはあるが、それ以上の年齢者はベースアップがほばない。

賛否の状況 ※賛否が分かれた議案のみ掲載

議案等の名称	尾崎 智美	太田 啓補	從野 勝	若旅 啓太	神崎 良一	山本 稔	居樹 豊	万代 哲央	山本 泰正	西中 純一	当瀬 万享
和気町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
一般会計補正予算（第3号）【修正】	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
大規模災害時における災害廃棄物の仮置場として活用できる「防災都市公園」の早期整備に関する請願	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
和気町防災都市公園整備事業を早期に建設することを求める請願	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○

委員長報告

和気町議会には、2つの常任委員会と2つの特別委員会があり、付託された議案について、特に詳しく審議します。

総務文教 常任委員会

令和元年度

一般会計補正予算

問 学識経験者の費用

弁償額が、ほかの委員より高いのはなぜか。

答 学識経験者の費用弁償額は法令で定められている。和気町の日額1万1000円は他の自治体と比べて抑えている。

問 給与改定で若年層

や子育て世代の職員に有利だが、年配層からの異論はないか。

答 異論は聞いていない。37歳以上の給与改定がないので、年々間差が詰まっている。

問 庁用車を売却する時

は、ナンバープレート

答 トを破棄し、新しいナンバープレートにすることを条件に売却しているか。

庁用車を廃車にする時、下取りする条件としてナンバープレートを返してもらっている。

厚生産業 常任委員会

令和元年度

一般会計補正予算

問 生ごみ処理費の光

熱水費88万8000円は何か。

答 生ごみ資源化センターにおいて、夏場に増えた生ごみの臭いを防ぐため夜間にも脱臭機稼働させたので、電気代が増えた。

問 耕地事業維持費5

00万円の内容は、

答 水路の老朽化により来年度の営農活動に支障がある箇所を工事を行う。

問 住宅管理費の修繕

費の500万円はどこか。

答 一般修繕でトイレ、給水管・水回りの修繕が多くなってきた。

また、退居時の修繕についても経年劣化による多額の修繕を要している。

問 藤まつりの公園管理費はどんな状況か。

答 昨年に比べ来客数、収入額も増え、今後とも観光PRに努めたい。

問 河川工事修繕料60

万5000円の内容は、

答 大田原ラバーゲートの経年劣化による修繕を、冬場年1回の点検時に行う。

問 農業用ドローン購

入費270万円についての経過説明を。

答 財源確保の意味でJAの事業を活用することにより100万円の補助が受けられ、農薬散布以外にも500万円ほどかかる

が、オプション機能を付けることにより行政の中で多用途に利用できる。

令和元年度

和気町国民健康保険 特別会計補正予算

問 電算事務委託料1

47万4000円は保険証にマイナンバーカードが使えるようにするためのものか。

答 令和3年3月からマイナンバーカードの使用に向けて、国保も対応していくためのシステム改修の委託料だ。

令和元年度

和気町地域開発事業 特別会計補正予算

問 設計の進捗状況は、

答 現在、開発許可申請の段取りをしており、来年4月から造成工事に移る予定だ。

令和元年度

和気町上水道事業 会計補正予算

問 配水管修繕費21

5万8000円の内容は、

答 宮田区内の配水管修繕と益原の加圧ポンプの修繕である。

令和元年度

和気町簡易水道事業 会計補正予算

問 支障移転工事負担

金はどこか。

答 矢田地内の自転車道に入っている水道管を国道へ移転する設計委託料である。

和気町道路線の 認定について

問 道路認定の目的は、

答 JRからの要請で、土地収用法にかかるとなる工事対象にするためだ。

防災都市公園整備事業 特別委員会

10月29日開催(閉会中)

最初に町の担当者より、基本計画の説明を受けた。その後、委員より意見が出された。

賛成の立場からの意見

- ・建設予定地は、町民全体の避難場所ではない。災害時の拠点として整備するものだ。このことを町民に周知する必要がある。
- ・グラウンドをつくれれば健康な人を増やすことにつながる。町民体育大会もできる。
- ・400mトラックの整備を希望する。
- ・親子、家族で親しみ、楽しめる公園を希望する。

反対の立場からの意見

- ・救急センターとしての役割も浸水地ではできない。
- ・公園をつくっても、独立採算は無理。町のお

球場は要らないということだ。防災対策も基本の議論が必要だ。

最後に町長より発言

町にとつて有益な事業である。

- ・今後予測される地震に備える必要がある。地の利を生かして、交流人口の増加を図りたい。
- ・今なら浚渫した土砂を計画地に利用して盛土することができ
- ・平常時は社会体育の充実、町民の長寿と健康維持のまちづくりを目指す。

令和元年度 一般会計補正予算

問

野球場建設の方向は野球規則の逆ではないか。

答

野球規則では観客本位を重視してセンター北向きである。基本計画ではセンター南向きで選手本位の計画である。

問

基本計画は浸水地であり、どこにもならない。関係予算は今年3回否決されている。事態をどう受けとめているか。

答

場所は既存の施設を含めて14.6haの公共施設をコンパクトにまとめる形で計画している。財源的にも約10億円の交付金が見込まれる。温泉周辺の活性化、町の発

防災都市公園整備事業 特別委員会

12月6日開催

展につながる。

問

先般の区長会で「反対している議員は計画地は5mから10mの浸水地域だ。」と事実と違った発言をしているが、どういふことがか。

答

区長会での発言は国交省の防災マップのことが頭にあり、その話をした。町の青塗りの防災マップと勘違いしていた。その後の区長会で訂正文を配付した。

問

起債が約10億円の事業である。国保税が令和3年度から値上げすると耳にしたが、防災事業のしわ寄せを町民は心配している。福祉が削られることに危機感を持っている。

答

公共下水道事業の償還が、令和2年度では前年度に比べ約1億2000万円減る。その後も減ってくるので、防災事業の償還は可能と考えている。

問

基本計画図にある建物は変更していくと町長は言っているが、図は今までどおりである。今後新たに考え直していくのか。

答

変更申請をかけることになるが、皆さんの意見を聞かせてもらう場を持った方がよいと考えている。

問

約20億円の事業である。実質10億円以上の町民負担がある。また、町の振興計画の中に防災公園の「ぼ」の字もない。災害発生前の防災力の強い町を目指す必要がある。現在計画の防災公園は将来に禍根を残すものだ。町長の、立ち止まっ

委員長報告

ではどうかという英断が
できないか。

答 東南海地震の発生率は、30年以内に70%から80%といわれている。昨今の異常気象による集中豪雨災害も多発し災害がでてい。計画地の近くには焼却場があり、災害廃棄物の処理もできる。町民の安全を守るために必要な事業である。

和気町防災都市公園整備事業を早期に建設することを求める請願書

意見A 不用額を返すと、国に対する信用が大分崩れる。町は基本計画を変更していく考えがある。

意見B 国の信頼が崩れるということ、国の担当課長と話したが、「そついうことではない。ただ同じ計画を申請されたら、順位は下がる場合がある。」ということだった。

和気鵜飼谷温泉事業 特別委員会

和気鵜飼谷温泉
特別会計補正予算

特別会計補正予算

問 燃料費を安くできないのか。

答 温泉の湯を一度ポンプアップし、ガスで加熱してレジオネラ菌など殺菌処理しているため、燃料費が高くなっている。

問 省エネ化事業の概略説明を。

答 環境省の補助事業、CO₂削減ポテンシャル診断事業において、鵜飼谷温泉の電気・ガス等の使用状態を診断し、エネルギーの消費削減を行うとするものである。

問

ホームページのアドレスに、わかりやすいドメインを

答 取得してはどうか。また、検索キーワードに備前市や赤磐市を追加してはどうか。

多くの人に利用してもらえるように検討したい。

請願

国民健康保険の子どもにかかる均等割保険料(税)減免措置の導入を求める国への意見書の提出についての請願

提出者：岡山県社会保障推進協議会 会長 三上 雅弘

▶ 審査結果：全会一致で趣旨採択

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

提出者：岡山県医療労働組合連合会 執行委員長 西崎 克江

▶ 審査結果：全会一致で趣旨採択

介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

提出者：岡山県医療労働組合連合会 執行委員長 西崎 克江

▶ 審査結果：全会一致で趣旨採択

大規模災害時における災害廃棄物の仮置場として活用できる「防災都市公園」の早期整備に関する請願書

提出者：和気町環境衛生指導員協議会 会長 延堂 俊輔 ほか7名

▶ 審査結果：賛成少数で不採択

和気町防災都市公園整備事業を早期に建設することを求める請願書

提出者：和気町建設業協会 会長 遠藤 吉人

▶ 審査結果：賛成少数で不採択

陳情

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2020年度政府予算に係る意見書採択の要請について

提出者：岡山県教職員組合 東備支部 支部長 栗政 和明

▶ 審査結果：全会一致で採択

研修報告 ～総務文教常任委員会～

テーマ 議会改革について

視察地 愛知県いぬやまし犬山市議会 および 愛知県いわくらし岩倉市議会

視察月日 令和元年 11月 20日～11月 21日

犬山市議会：市民フリースピーチ制度の導入

公募市民が議場で市政に関する提案をし、5分間のスピーチをする。例えば道の駅の設置のこと、駐車場の利用のこと、防災対策のことなど。スピーチの後、議員が不明箇所を質問する。後日、市民スピーチの提案を議員間で討議し、一般質問に生かす。委員会において調査する場合もある。市政に出来る限り生かす。



市民フリースピーチ制度は、議会開会中の夜間に行われている。傍聴席は満員になる。市民と議会が対話のキャッチボールを通して市民と議会が身近になる。

岩倉市議会：議会サポーター制度の取り組み

市民に議会を知ってもらう、生の姿を見ってもらう。サポーターに提言をもらい、議会はそれを取り入れていく。

昨年は 22 名のサポーターが誕生した。10～80代の男性15名・女性7名が就任しており、本会議や委員会などに出席してもらい、感じたことを率直に発言してもらう制度である。現在まで 84 件の提言が出され、議会は実現に向け取り組んでいる。



視察の成果

当町議会として活動事例を見習い、まず、議員間討議で何ができるか話し合う。議会が一つにまとまって議会力が発揮できるようにしたい。住民自治の観点から、住民の皆様との対話、意見交換会の実現を目指す考えである。

研修報告 ～厚生産業常任委員会～

テーマ 観光農業の推進、結婚・出産・子育て支援

視察地 奈良県田原本町 たわらもとちょう および 大阪府熊取町 くまとりちょう

視察月日 令和元年 10月 24日～10月 25日

田原本町：観光農業の推進

研修初日は、奈良盆地の中心部にあり、人口32,000人の都市型農業を展開する田原本町を訪れ、道の駅においてブランド作物の振興をテーマに研修した。

豊かな農地をもつ田原本町は、約2,000年前から行われている米づくりを中心にブランド作物の振興に努め、ナス、ほうれん草、イチゴなどを生産、特に奈良の伝統野菜に認定されている味間いも（あじまいも：里芋）のブランド化に力を入れている。

また、近畿大学と地元農園との共同開発によるメロン栽培を行い、ブランド化に成功している。



熊取町：結婚・出産・子育て支援の取り組み

研修2日目は、大阪府の熊取町を訪れ、結婚・出産・子育て支援の取り組みをテーマに研修した。

熊取町の子育て環境の特色は、公立幼稚園がなく、町立保育所、民間の認可保育所が担っている点である。古くから自治体を中心とした行政との協働のまちづくりにおいて、保育所が中心的役割を果たしており、産科医療機関も周辺市町との広域運営で支援するなど、医療環境が整備されている。

子育て包括支援センターにおいては、保健師による全数アプローチを実施し、助産師による赤ちゃん訪問など母子と保健師との顔の見える関係づくりを行っている。また、妊娠期から切れ目なく包括的に支援していく「子育て支援課」を設置し、体制強化を図っている。



視察の成果

当町議会として、両町の取り組みは大変参考になった。本町においても、耕作放棄地が増加しているが、新規就農者を呼び込むための施策につなげていきたい。また、少子高齢化が進む中、子育て世帯を応援すべき事業を積極的に進めていきたい。

一部事務組合議会

近隣の市・町の一部の事務を共同で行うため、一部事務組合を設置しています。

一部事務組合議会は、構成する市・町の議会から選出された議員が、予算や決算等について審議します。

(令和元年 11 月 5 日開催)

組合名	議案の件名	審議結果
和気老人ホーム組合 (和気町、備前市、赤磐市)	平成30年度和気老人ホーム組合会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和元年度和気老人ホーム組合会計補正予算(第1号)について	原案可決
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合(和気町、赤磐市)	平成30年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和元年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計補正予算(第1号)について	原案可決
和気北部衛生施設組合 (和気町、備前市、赤磐市)	平成30年度和気北部衛生施設組合会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和元年度和気北部衛生施設組合会計補正予算(第1号)について	原案可決

(令和元年 12 月 25 日開催)

組合名	議案の件名	審議結果
和気老人ホーム組合 (和気町、備前市、赤磐市)	和気老人ホーム組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
	令和元年度和気老人ホーム組合会計補正予算(第2号)について	原案可決
和気・赤磐し尿処理施設 一部事務組合(和気町、赤磐市)	和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
	令和元年度和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合会計補正予算(第2号)について	原案可決
和気北部衛生施設組合 (和気町、備前市、赤磐市)	令和元年度和気北部衛生施設組合会計補正予算(第2号)について	原案可決

議員紹介 ~第3回~

File Number

06

わかたび けいた
若旅 啓太



所属政党：無所属

当選回数：2回

役職：広報編集委員会 委員長
総務文教常任委員会 副委員長
防災都市公園特別委員会 副委員長

生年月日：平成2年5月31日(29歳)

血液型：O型

家族構成：妻、息子2人

居住地区：宮田

好きな食べ物：苺、乳製品、煮込み料理全般

趣味：ドラム演奏、チェス、キックボクシング

座右の銘：「風が高く上がるのは風に向かっている時である。流されている時ではない。」
(ウィンストン・チャーチル)

ひとこと：若い世代の方こそ、和気から出て生活してください。広い世界で多様な人と出会って、沢山の経験をしてほしい。そうして初めて、地元のことがわかるようになります。そして外の世界で大きく成長した皆さんが「いつか戻りたい!」と思える和気町にすることが残された大人の責任です。

2020年が皆さんにとって素晴らしい1年になりますように。

File Number

05

よりの まさる
從野 勝



所属政党：無所属

当選回数：1回

生年月日：昭和20年1月5日(75歳)

血液型：A型

家族構成：妻と母の3人暮らし

居住地区：佐伯(岩戸)

好きな食べ物：刺身

趣味：犬を飼うこと、特に大型犬(シェパード。チャンピオン犬を育てていたことも)

座右の銘：「人間万事 塞翁が馬」

ひとこと：昨年、はからずして議員になり、議会の様子も何もわからないうちに1年足らずが経ちました。老体に鞭打ち頑張りますので、皆さま御指導をよろしくお願ひします。

町政を問う

一般質問

一般質問とは、和気町の行財政全般にわたって、執行機関に対して説明を求めたり、または所信をただしたりすることです。これにより、執行機関の政治姿勢を明らかにするとともに、政治責任を明確にする目的があります。

一般質問は一問一答方式でおこなわれ、質問時間は質問・答弁を含め40分間です。

12月議会定例会には、8名が登壇し、町長・教育長・その他執行部の考えをただしました。

居樹 豊 議員 16 ページ

- JR 和気駅用地の早期購入を
- 妊娠・出産・子育て支援の充実を

神崎 良一 議員 17 ページ

- 防災対策は町民に周知徹底できているか
- 子育て支援政策の効果は

西中 純一 議員 18 ページ

- 防災都市公園予算提出は議会軽視だ軌道修正して中止せよ
- 矢田工業団地の工事の遅れの原因は

太田 啓補 議員 19 ページ

- 防災対策についての考え方は
- ポートピア建設のメリットとデメリットは
- 防犯電話普及推進は

山本 稔 議員 20 ページ

- 健康ポイント制度の導入は
- 河川公園はどこが管理するのか

山本 泰正 議員 21 ページ

- 町長発言の間違い訂正はどうする

尾崎 智美 議員 22 ページ

- 災害発生時はどのような指揮命令系統になっているか
- ITの活用による効率化・省コスト化を

若旅 啓太 議員 23 ページ

- 現実的な治水のあり方は
- 今後の和気町の水道行政は

居樹 豊



問 JR和気駅用地の早期購入を

答 もう少し検討させていただきたい



居樹 豊議員の
一般質問動画は
ここから→

問 まちづくりの優

先施策である駅周辺の活性化、その中核となる和気駅の利便性向上をどのように考えているのか。また、駅前駐車場の拡張のためのJR用地の購入はいつまで延ばすつもりか。そして、和気駅の利用促進のための組織づくりはどこまで検討しているのか。

答 久永都市建設課長

JR西日本からは、平成29年3月に承諾書をいただいたしており、概算事業費で約1億円かかるが、和気駅の利便性向上・利用促進につながることを考えていきたい。

また、公共交通は

交通弱者にとっても生活に欠かせないし、公共交通の利便性低下は町全体のイメージダウンとなり、その必要性和重要性は十分認識している。

答 草加町長

JR用地は単価的に見てかなりの額であり、投資効果があるのかと検討しているところである。こうしたことも踏まえ、一度JRと詰めた話をしたいと思っ



和気駅前駐車場拡張予定地

をしたと思うている。なお、和気駅の利用促進については、定時定路線バスを駅に集中させ、乗降客の確保にも努めているところである。いずれにしても、和気駅は本町の玄関口であり、環境整備に努めていきたいと考えている。

問 妊娠・出産・子育て支援の充実を

問 10月から3〜5

歳児の幼保無償化が図られているが、町独自の施策として、0〜2歳児の保育料の無償化を検討してはどうか。出産祝金の創設については、出産時の一時的、経済的支援の一環として考えてはどうか。産後ママあんしんケア事業については、母子の健康保持の観点から一部見直しが必要と考えるがどうか。

答 万代教育次長

保育料無償化については、10月1日現在、0〜2歳児は町全体で

支援の充実を

236人いるが、そのうちにここの園の利用者は132人で、多くの方が家庭において保育している状況である。無償化することにより保育の選択によって不公平になるのではと考えている。さらに、保育士確保が厳しい中、新たな利用希望者や長時間保育が増えることが予想され、待機児童が増えることも考えられる。

こうしたことから、0〜2歳児の無償化については現在予定していない。

答 松田健康福祉課長

出産祝金については、県内のいくつかの市町村で制度化している。出産前後にかかる費用は子育て世代にとって大きな負担となっていることは承知しているが、先に子育て環境の整備を進めたい。産後ママあんしんケア事業の見直しについては、利用実績が少ないことから、今後聞き取りを行い、何らかの支援を検討していきたいと考えている。

意見

県下一の子育て環境のまち・和気町を目指し、さらなる施策推進に努めていただきたい。



神崎 良一

問 防災対策は町民に周知徹底できているか

答 広報誌、新聞、テレビを通じて発信し、区長会でもお知らせしている



神崎 良一議員の一般質問動画はここから→

問 今年の台風19号などの災害の教訓を、和気町はどのように反映していくのか。

答 新田危機管理室長 指定避難所の運営マニュアルを策定し、地域防災計画や職員初動マニュアルなどより具体的で実行性のあるものに随時修正していく。

問 地域防災計画の改訂時にあたって、特記する事項はないか。

答 新田危機管理室長 貸付限度は被害の種類や程度で異なるが、350万円を限度に条例や施行規則に定められている。

問 子育て支援政策の効果は

答 松田健康福祉課長 平成28年～30年の3年間は、移住者の7割が子育て世代である。

問 産婦人科の設置を検討しているか。

答 松田健康福祉課長 今後産婦人科開設に向け医師会など情報共有していく。

問 医療費無料化や妊婦健診の無料券配布は、子育て世代の移住定住に結びついているか。

答 松田健康福祉課長 発達障がい児の、幼少期から就労において政策がなされているか。

問 発達障がい児の、幼少期から就労において政策がなされているか。

答 松田健康福祉課長 昨年度よりワーキンググループの立ち上げを行い、シSTEMの構築協議を進めている。

問 学習支援などの政策は、学力向上に繋がっているか。

答 藤森学校教育課長 4月と11月の全国学力調査を比較すると、伸びが見られる。

意見

閉園閉校により、子どもが遊べる遊園地・遊具が少なくなっている。メンテナンスを行なって、活用できるようにしてほしい。

問 災害復旧事業の融資など具体的事項は決まっているか。

答 新田危機管理室長 今年度の岡山県の防災計画の修正や平成30年7月豪雨災害の検証などを踏まえて、地域防災計画の修正を行っており、来年度より改訂に着手する。

問 松田健康福祉課長 県内産科医療機関と連携体制をとり、

問 公営塾、オンライン英会話、放課後



NPO法人ママはっとサロンによる子育て支援者養成講座

西中純一



問 防災都市公園予算提出は議会軽視だ
軌道修正して中止せよ

答 行政の継続性、公約でもあり
安全・安心のまち、将来の経済効果も大

問 矢田工業団地の工事の
遅れの原因は

遅れの原因は

あると思われるが、調整池について、原案では指針に適さないという理由で計画変更を余儀なくされたのが、遅れた要因である。設計業者との業務進行に問題はなかった。

問 防災都市公園事業は、3月から2回も修正削除されているにもかかわらず、12月議会にも予算を出してきた。町長には執行権があっても議会で決まらなければ予算執行できないので、方向転換していただきたい。

補助金をもとにした予算も3月議会でも同時に提案したが、両方とも修正削除となった。

南海・東南海地震は30年以内に70%、80%の確率で発生する。また、今年県内

でも1時間あたり200mm以上の集中豪雨が発生している。町民の安全・安心のためにも、また、公園を中心に交流人口を増やして経済効果をあげていきたい。

答 草加町長

30年9月の議会で防災公園の1億5600万円の予算が賛成多数で議決となっていた。その後、今年2月に議会選挙があり、9月に通った予算を繰越明許し、1億2700万円の



防災都市公園予定地（益原）

問 矢田の工業団地は、予定では今年4月から工事開始であったが、3600万円の代金を支払っていたにもかかわらず、県の設計許可がとれなかったため、新たに900数万円かけて設計をやり直している。一般の商取引では考えられない。矢田の説明会でも設計業者が儲かっただけではないかという意見があったと聞いている。

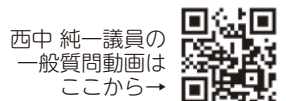
答 野山総務事業部長

設計業務については、岡山県等各部署の指導のもとに協議を進め、了解を得た後にそれぞれ申請書類の納品を受け、業務を完了したものと考えている。

その後、県の開発担当部局との協議において、昨年7月の西日本豪雨の影響も



矢田工業団地予定地（矢田）



西中純一議員の一般質問動画は
ここから→



太田 啓補

問 防災対策についての考え方は

答 国・県の指導のもとに進める

問 改正された水防法の基準に則したハザードマップになっているか。また、避難所の場所や避難経路などが盛り込まれているか。

答 新田危機管理室長 現在のハザードマップは、平成27年3月に策定したもので、旧基準のものだ。今後、国県の指導のもと、想定最大規模降雨による浸水想定区域をハザードマップに反映させる必要があるが、令和3年度以降になると思う。

問 指定避難所と指定緊急避難場所の定義と内容はどのようなものか。

答 新田危機管理室長 町民が当面の危険を回避し、緊急的に避難する施設・場所が指定緊急避難場所である。指定避難所は、災害の危険性がなくなるまで滞在を

今後も組み立て式の簡易トイレ、食料備蓄の購入など計画的に整備をする。

問 ボートピア建設の

メリットとデメリットは

問 町長はボートピア建設について6カ月間熟慮したといわれたが、メリットとデメリットについてどのように考えたのか。

答 草加町長

メリットとして地元雇用30人という点と、環境整備協力金等についても交付される。さらに和気駅

からシャトルバスを1時間に1本は出して交通停滞を招かないようにする。和気駅の乗降客の増加にもつながってくる。

デメリットについては、環太平洋大学の学生に対する影響が心配をされることだ。



ボートピア建設予定地（本地内）

問 防犯電話普及推進は

問 今後防犯電話を買った人に金銭的な補助をするのか、町が購入して貸し出すのかということも含めて検討をいただきたい。

答 (時間がなくなっただため、答弁はなし)

【註】防犯電話については、来年度予算化の予定。

太田 啓補議員の一般質問動画はここから→



山本 稔



問 健康ポイント制度の導入は

答 今後検討する

問 今、和気町は医療費が県内トップで、このままでは保険料も高くなつていくと予想される。医療費を少なくして保険料も高くならないように方策を考えなければいけない。今年の研修先（奈良県田原本町）がおこなっていた健康ポイント事業を、和気町も導入してはどうか。

の推進、健康教室や各種運動行事の企画立案、医療費の情報提供が必要だと考えており、今後広くPRをしていきたい。

ポイント制度導入は単町事業になるため、国保や後期高齢者医療などの交付金を活用することができないかと考えている。近隣市町の状況も勘案しながら、今後検討していきたい。

問 ポイント制度導入により、老人クラブや和気クラブ（総合型スポーツクラブ）など、和気町の活性化につながるの、ぜひお願いしたいがどうか。

答 松田健康福祉課長 健康に対する動機付けとして今後考えたい。

問 河川公園は

どこが管理するのか

問 和気橋上の河川公園の、さらに上流にも公園ができると思うが、管理はどこがするのか。

また、乗用の大型草刈機があるが、さらに新しい草刈機を導入することで作業性向上と貸し出しなどで利便性向上が図られる。こういった考えはないか。

また、乗用の大型草刈機は補助制度がなく、多額の費用がかかるので、購入については慎重に判断したい。

問 グラウンドゴルフ場の芝刈機は乗用にならないか。

答 則枝社会教育課長 現在、老朽化した手押し芝刈機が3

答 久永都市建設課長 現在、河川を整備しているところは3カ年計画で行なっており、親水護岸、堤

答 松田健康福祉課長 個々の健康管理はポイント制の導入による動機付けも必要だが、自発的に健康な生活習慣を実践するという考えのもと、特定健診やがん検診など各種健診

●田原本町の健康ポイント事業

対象：田原本町在住で
昭和30年4月1日以前に
生まれた方（2019年度）

ポイント事業の流れ

- ①役場で申請してポイントカードを受け取る
- ②ポイントを貯める
 - * 押印場所でスタンプを押してもらう
 - * 各自が設定した「いきいき目標」を達成して、日付を記入
- ③補助券と交換
 - * 50ポイント貯めたら長寿介護課で補助券と交換
 - * 事業参加店で500円相当として使える



河川公園予定地（田原下地内）

山本 稔議員の
一般質問動画は
こちらから→



山本 泰正



問 町長発言の間違い

訂正はどうする

答 町長をいさめることはしていない



山本泰正議員の
一般質問動画は
こちらから→

問 区長会での町長

発言、問題ある発言4項目について質問したが、特に大きな問題2項目について報告したい。

まず、「南海トラフ地震・東南海地震も30年以内に70%〜80%の確率で、震度6くらいが発生すると内閣府が公表している。これを考えた時、ハウスメーカーの家は持つかもしれないが瓦を上げた日本建築は持ちませんよ。」との発言。

和気町の防災計画、および岡山県が公表した被害想定では、全壊1棟・液状化による建物被害は全壊5棟である。こんな情報が区長さんから町民に流れて

いいの。問題だ。

また、「反対している議員は、実は計画地が5m〜10mの浸水地域だ、防災マップはもう真っ赤だ、と言っている」との発言。私の知る限り、反対している議員は、和気町が行ったハザードマップに基づき、計画地が2m〜5mの浸水地域であるため、防災施設の設定は問題がある、との理由で反対している。

このような町長の発言が、7月12日開催の区長会であったとのことだが、6月議会での町長の間違った発言に対し、副町長は「訂正する」とのことだったが、副町長の見解は。

答 稲山副町長

6月議会で、町長の発言が間違っていたなら訂正するよう答弁したが、区長会では町長の考えがあり、数字が間違っていると、数字が間違っていると、考え方が間違っているというように、我々としては町長をいさめていない。

問 私が問題視しているのは、反対して

いる議員が計画地のことを5m〜10mの浸水地域だと言っていることである。

また、防災都市公園事業を進めるために、「瓦を上げた日本

建築はもたない」とのことであったが、区長

さんの中には「町長の説明を機会があることに住民に説明している」とのことである。「反対している議員・反対している議員が」という形での発言は、私たちは非常に不快である。

和気町の防災計画、あるいは和気町が発行しているハザードマップで、町民に正しい説明・報告をされたい。ハザードマップで2m〜5mの浸水地域を、国土交通省が公表している5m〜10mであるならば、なおさら防災拠点としてふさわしくない。

意見

現在の和気町議会では、防災都市公園問題でぎくしゃくした状態だ。こんな状態が続けば、町民にも悪影響が波及するのではないかと危惧している。

議会では町民を代表した行政の最高議決機関だ。この事業は、6対5、あるいは5対6で賛成したり反対したりするような事業ではなく、少なくとも議会からも町民からも7割8割の賛成を得て進める大事業だ。

議会も議長を

中心にワンチームを
目指し、議会改革に
取り組み、健全な議
会運営を目指してい
る。執行部もご理解
いただきたい。



防災都市公園予定地



尾崎 智美

問 災害発生時はどのような指揮命令系統になっているか

答 本町独自の防災シナリオを作成している



尾崎 智美議員の一般質問動画はここから→

問 ※LINEグループの活用により、消防団は必要な情報が速く正確に伝わるようになり、消火活動に大いにプラスになった。災害時にITを活用することにより、迅速で正確な情報の収集や伝達が行

える。電話連絡だけでなく人手が奪われる。告知端末ではどのような情報が役場に伝えられ、どのように現場に伝わるのか。

答 新田危機管理室長 要支援のボタンが押された家が特定できるようになっており、役場から連絡を取るようになっている。

※LINEグループ 携帯電話アプリを使って情報を共有するしくみ。

問 ITの活用による効率化・省コスト化を

問 役所の会議や議会では大量の紙資料が配られる。パソコンやタブレットを利用することによって、膨大な紙資料やインク代の節約、事務作業の大幅な削減につながる。役所の会議や議会のペーパーレス化、タブレット化を推進するつもりはあるか。

問 町所有のパソコンの状況は。

答 永宗財政課長

役場や学校など合わせて約500台のパソコンがあり、大部分にワードとエクセルがインストールされている。

答 永宗財政課長 タブレット化やペーパーレス化は、時代の流れである。先

問 役場などでの文書作成で使う機能は

ごく基本的な機能しか使わない。ならば無料で利用できる「リブレ・オフィス」といった文書作成ソフトや表計算ソフトの利用も検討すべきでないのか。無料で導入でき、併用可能なので、少しずつ慣れて移行していけば負担もないはず。町全体では莫大な経費が節約できる。徳島県庁、会津若松市など既に数十の自治体が導入している実績もある。ワードもエクセルも海外企業であるマイクロソフト社製であり、その保存形式は私企業の規格であ

る。一方で、リブレ・オフィスは設計図が公開されており、国際標準規格の保存形式が採用されている。全国でこの流れが進めば民間にも波及することが期待され、民間の経費も抑えられ、有益ではないか。公文書の保存や管理という点からも後者の方が適切ではないか。

答 永宗財政課長 諸事情により、導入の予定はない。



告知端末

若旅 啓太



問 現実的な治水のあり方は

答 ソフト面にも力を入れる



若旅 啓太議員の
一般質問動画は
こちら→

問 現在、吉井川の改修を行っているが、金剛川の改修も必要と思うがどう考えているか。

答 草加町長

金剛川と日笠川の合流地点から富士見橋までの浚渫を国と約束している。

問 今後の和気町の水道行政は

問 南部水源地域を中心に「水道水が乾くと青くなる」という話をよく聞く。先日、課の立会いのもとと数軒のお宅の止水栓から取水し、現在、関係機関で精密検査してもらっている。毎月水源地と清水の消防機庫で水質検査を行い、飲料条件をクリアしているのだから安全なことには間違いないが、「水道水が乾くと青くなる」という現象のせいで安心面で疑問をもっている町民がいること

答 山崎上下水道課長

水道水自体は安全基準値を毎月クリアしているが、温水器で銅管を使っているご家庭もあり、これが青くなる原因である可能性がある。しっかりと検査していきたい。

問 和気町を含め、全国ほとんどの自治体で上下水道管の更新時期が近づいている。水道管の更新に

は多額の予算が必要になるため、1700の全自治体による国からの予算の奪い合いが予想される。奪い合いはあと10年ほどで激化していくだろう。水を治めること、安心安全な水を次世代に残すことは、今

後の地域社会を考慮の上で欠かせない課題だ。町としてはどう対応することを考えているか。

答 草加町長

水道管は、年数が経っている場所から優先的に修繕していく。

答 久永都市建設課長
改修は優先的に取り組む課題であるが、予算の制約があるため避難場所の整備や物資の備蓄、監視カメラや水位計といったソフト面の整備に力を入れるつもりだ。



水質検査（本荘地内）

次号予告：特集「議会のしくみ」

次号の特集は、議会のしくみをわかりやすく解説します。

町のルールや税金の使い方がどのように決められているか、一緒に学びましょう。



表紙写真を募集しています

あなたが撮った写真が『議会だより』の表紙になります！
発行月（1、4、7、10月）にふさわしい町民の笑顔やイベント行事などの写真をお送りください。

採用になったお写真は、『議会だより』表紙に掲載するとともに、紙面で紹介させていただきます。また、和気町PRグッズを差し上げます。

* 詳しい応募要項は、和気町議会事務局までお問い合わせください。



写真はイメージです。

The Story 今号の表紙 「和気町に移住した方々との座談会」

コメント：和気町に移住され1、2年の4家族の方々に取材させていただきました。お子たちも参加しての座談会で、とてもアットホームな雰囲気が進めることができました。これが和気町の将来みただいな、なんて感じました！（神崎 良一）



表紙写真はトリミングして掲載させていただきました。

Editor's Note 編集後記

個人的な年末の恒例行事として、1年を振り返り、今年の1曲を選ぶことにしています。

令和元年は、フジファブリックの「若者のすべて」。前年は、Superflyの「Gifts」。2016年は、Sunny Day Serviceの「セツナ」でした。何年経っても思い出してしまうな。今年はどうな曲に出会えるかな？ あなたの思い出の曲は何ですか？

（尾崎 智美）

